



フォレスターうじ 会報

第297号

令和5年

11月1日発行

丸太ベンチ 2 台、小枝の椅子も楽しくできあがりました。

森林ボランティア フォレスターうじ ホームページ: <https://forester.foresteruji.org>



十月定期活動

丸太ベンチ作りと小枝の椅子作り、

遊歩道の立ち枯木の伐採

活動日 十月十五日(日) 曇一時小雨

活動時間 九時三十分～十四時四十分

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十九名(午後から一名)

一日体験者一名

10/15 立ち枯れ木の伐採 動くおもちゃの部品製作 丸太ベンチの足作り

昨夜から降り出した雨も朝には上がり、曇空であったが十八名の会員と一日体験者一名の十九名が集まった。定刻になり朝礼、会長挨拶。今月の活動内容の説明、事務局から連絡事項の伝達、筆者から長野県下での伐採作業での死亡事故報告と注意喚起、点呼、安全十ヶ条の唱和、準備体操を実施。

今月の活動予定である、ホームグラウンドの活動広場に設置してある丸太ベンチが、長年風雨にさらされて腐ってきたので、参加者全員で新しいベンチと入れ替え作業をする予定であったが、先月の活動「森の木工作会」の小枝の椅子作りが、発電機故障のため電動工具使用不能で手作業となり、活動時間内に完成させることができず、今月にずれ込んだため、丸太ベンチ作りと小枝の椅子作りの二班に分れ活動することになった。

小枝の椅子作りは久保田、小林両会員の指導の下作業を行い、丸太ベンチ作りは、実行委員長が解体、作業の手順、長尺物資材を取り扱うため周囲の安全確認の励行、資材の選別等を説明、トータムポール側のベンチから解体し、長年ログハウスの片隅で眠っていた長さ二m×幅十cmの角材と丸太を使って、二台のベンチを午前中に完成させた。

午後からは、遊歩道脇の立ち枯木が倒れる恐れがあることから、伐採班が編成され、三班体制の作業となった。

午後二時過ぎ雲行きが怪しくなり、小雨が降りだしたので作業を中止、定期活動を終了した。

小枝の椅子作り班は全員が完成、伐採班は松枯木等四本を処理した。丸太ベンチ作り班は三台目を作成途中で中止したので来月継続することにした。一日体験者は丸太ベンチ作りと伐採班で活動活躍されました。皆さま、ご苦労様でした。

(記 松川 正廣)

十月特別活動

アクトパル秋まつりに協力

どんぐりプロジェクト(e-cott宇治と協働)

活動日 十月九日(月) 曇時々小雨

活動時間 九時～十四時

活動場所 アクトパル宇治玄関前広場

参加者 会員五名 e-cott宇治一名

来場者 二十二組(子供二十九名大人二十六名)

昨夜来の豪雨も当日朝には小雨となり、やがて時間と共に止んだ。昨年も同じように雨に遭った記憶がある。秋まつりはコロナ前の規模で行なわれたが、未だマスクはチラホラと散見された。

多くの家族連れがイベントのメイン会場や芋掘り会場へ足を急がす中、その流れに飛び込みどんぐりの種植体験へと誘う。足を止めて頂いた親子へ、この活動が温暖化防止の一助に成る事を、スタッフ会員が地道な説明をし、結果、二十二組(宇治市十三組、宇治市外九組)の方々に協力頂き、持帰ってくれたどんぐりの鉢は二十三鉢になった。緑の募金も少し集まった。

活動中、東笠取の林業マイスター北浦さんとお会いし、話をお聞きしたところ、今年の異常高温での農作物被害を懸念されていた。また政治家の来場もあった。それから特別取材に来てくれたFMうじのインタビュアーではこの取り組みの趣旨、育った苗木のアクトパル宇治内への植樹活動の説明をしたりして、有意義な一日であった。

時折小雨が混

じり風が強く肌寒

寒い曇り空の中、

スタッフの皆さん

ん、お疲れ様でし

た。

(記 新宮 邦春)



10/9 秋まつりにて

十月特別活動

宇治橋通り笑顔がいっぱい

わんさかフェスタに参加

活動日 十月二十八日(土) 曇後晴

活動時間 十時～十五時三十分

活動場所 京都信用金庫宇治支店前

参加者 会員九名 京都文教大学三名

来場者 木工体験二十三名丸太切り体験十五名

作品販売協力金 六八〇〇円

例年どおりの手順で、十時半過ぎには開店準備を完了。十一時の菟道高校マーチングバンドによるオーブニングパレードでフェスタはスタートしたが、当ブースにはその直前からトンボ作りにチャレンジする子供達が集まり木の実などをふんだんに使った面白い作品作りを楽しんでいた。

今年のフェスタは商店街理事長からの挑戦状として宇治橋通りの六ヶ所に掲出された問題を順次解いていくキャッチフレーズ「ナゾトキの秋」が開催され、当ブースには第四問の「陶芸の里炭山を訪れると、いつも冬のようなのはなぜ？」という連想力が必要な問題が掲出された。答えは「トウキ(陶器・冬季)」。この問題を見るために多くの参加者が当ブースを訪れて



10/28 わんさかフェスタ

くれ、答えを考えていた。直ぐに答えが分かった人もおれば、考え込む人もおり、当会会員がヒントを与えて手助けをした。

なお、今年の出は例年に比べ低調で、木工体験などの参加者も減少し、空き時間が多かった。また物価の影響(?)なのか財布の紐が固く、作品の品定めをしても買ってもらえないケースが多々あったことが残念であった。

(記 深田 和夫)

十月臨時活動

研修会の下見

十月八日(日) 会長、事務局長、藤原会員、谷口で研修会の下見に行きました。有馬富士の優美な山陵を望みながら緑の環境クラブ副代表始め四名の方に活動地を案内していただき、色々なエピソードも交え楽しい交流の下見となりました。

(記 谷口 好英)

天ヶ瀬森林公園入口桜枯木の伐倒処理

十月十日(火) 九時より、天ヶ瀬森林公園入口近くにある桜の大木が枯れており倒壊の危険性があるため、「宇治きこりの会」桑村様のご協力を得て伐倒しました。当会からは小林と木曾に協力してもらいました。

伐倒と後処理は十時頃に終わり、付近の桜の木で車道に落ちる可能性のあった枯れ枝も処理しました。十一時過ぎに無事作業を終わりに解散しました。

(記 林 幸広)



10/15 立ち枯れ木の伐採作業



今後の活動の案内

令和五年十二月以降の予定です。ぜひ、ご参加ください。

十二月定例活動

十二月十七日(日)

天ヶ瀬森林公園

森のミニ門松体験会

・天ヶ瀬森林公園の森林整備

十二月特別活動

十二月二十二日(金)

宇治市役所正面玄関

・大型門松設置

会員募集のお知らせ

フォレストアージュはいつでも会員募集中。

先ずは一日体験からどうぞ。事務局までご連絡ください。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

右の写真は完成した小枝の椅子の前での記念撮影です。除いた樹木を利用しました。森の循環のひとつです。

(会報担当 木曾 宗統)
(写真担当 田中 一夫)

